

平成25年度事業報告

◆事業概要

本会では、地域福祉活動の中心となる地区社協の支援に重点を置き、小地域での見守り・支え合い活動やふれあいサロン活動が地域で積極的に展開できるように、支援を進めました。また、その中で生じるさまざまな課題を解決するため、関係機関・団体の連携を進めるためのネットワーク会議などの協働の場づくりを行いました。

さらに、平成25年度は、平成21年度に策定した第1期地域福祉活動計画の実践5年目・最終年度となることから、第2期地域福祉活動計画の策定に向け地域懇談会やアンケート・策定委員会などを実施してまいりました。

これらの事業を重点におき平成25年度の事業を行いました。

1. 法人運営の基盤整備

①理事会・評議員会の開催

社協の運営・経営管理上の重要事項や適切な事業執行・基本方針等の決定を行うため、理事会・評議員会を開催しました。開催状況は下記のとおりです。

<理事会>

第1回 平成25年5月27日

議決事項

- 評議員の一部交代（案）について
- サポートセンター竹とんぼ運営規程の変更（案）について
- 平成24年度事業報告について
- 平成24年度一般会計収支決算書について

議決事項

第2回 平成25年6月28日

- 評議員の一部交代（案）について
- 災害時要援護支援対策モデル事業の受託について
- 社会福祉協議会一般会計収支補正予算（案）について

議決事項

第3回 平成25年9月27日

- 就業規則の改正（案）について
- 平成25年度収支補正予算（案）について
- その他（地域福祉活動計画進捗状況について）

議決事項

第4回 平成26年1月28日

- 評議員の一部交代（案）について
- 平成25年度補正予算（案）について

議決事項

第5回 平成26年3月27日

- 第2期地域福祉活動計画（案）について
- 給与規程の改正（案）について
- 平成26年度事業計画（案）について
- 平成26年度一般会計収支予算（案）について

<評議員会>

第1回 平成25年5月27日

議決事項

- サポートセンター竹とんぼ運営規程の変更（案）について
- 平成24年度事業報告について
- 平成24年度一般会計収支決算書について

議決事項

第2回 平成25年6月28日

- 理事の一部交代（案）について
- 災害時要援護支援対策モデル事業の受託について
- 社会福祉協議会一般会計収支補正予算（案）について
- その他（共同募金委員会について）

議決事項

第3回 平成25年9月27日

- 就業規則の改正（案）について
- 平成25年度収支補正予算（案）について
- その他（地域福祉活動計画進捗状況について）

議決事項

第4回 平成26年1月28日

- 理事の一部交代（案）について
- 平成25年度補正予算（案）について

議決事項

第5回 平成26年3月27日

- 第2期地域福祉活動計画（案）について
- 給与規程の改正（案）について
- 平成26年度事業計画（案）について
- 平成26年度一般会計収支予算（案）について

②第2期地域福祉活動計画の策定について

平成26年度を始期とする第2次地域福祉活動計画を策定するために、住民アンケート、住民懇談会、策定委員会などを開催し、広く住民の意見や要望を聴き、それを新し計画に取り入れ策定しました。

- 策定委委員会（17名）・・・・・・・・・・年6回開催
- 作業部会（6名）・・・・・・・・・・年3回開催
- 職員ワーキンググループ（14名）・・・・年6回開催

2. 財源の確保

①会員制度の推進と寄付金について

社会福祉協議会（以下、社協）の重要な財源の一つが、市民の方々などから寄せられた会費や寄付です。こうした財源は、社協が民間組織として活気ある運営と事業の推進に欠かすことのできないものです。

過去10年間の会員数の状況

年 度	住民会費 (500円/□)	賛助会費 (2,000円/□)	施設団体会費 (5,000円/□)	特別賛助会費 (5,000円以上)
平成16年度	7,257世帯	83事業所	9施設・団体	
平成17年度	7,279世帯	78事業所	10施設・団体	
平成18年度	7,205世帯	72事業所	14施設・団体	
平成19年度	7,165世帯	74事業所	13施設・団体	
平成20年度	7,126世帯	75事業所	18施設・団体	24名
平成21年度	7,051世帯	79事業所	20施設・団体	22名
平成22年度	6,869世帯	74事業所	21施設・団体	22名
平成23年度	6,910世帯	75事業所	22施設・団体	20名
平成24年度	6,838世帯	74事業所	21施設・団体	15名
平成25年度	6,778世帯	76事業所	18施設・団体	18名

過去10年間の香典返し・寄付金の状況

年 度	香典返し寄付	一般寄付
平成16年度	6,375,000円	789,918円
平成17年度	5,690,000円	363,370円
平成18年度	6,053,000円	307,918円

平成19年度	4,970,000円	168,883円
平成20年度	5,075,000円	103,560円
平成21年度	5,040,000円	244,852円
平成22年度	4,833,000円	295,458円
平成23年度	4,735,000円	302,908円
平成24年度	5,480,000円 (242件)	1,134,844円 (金銭742,244円、物品392,600円)
平成25年度	4,515,000円 (219件)	353,410円 (金銭260,027円、物品93,383円)

3. 保健福祉ゾーン構想の推進に伴う総合相談窓口の充実

津久見市の保健福祉ゾーン構想の一翼を担い、保健福祉に関する相談窓口の一元化を推進しました。



①総合相談窓口における相談事業（地域班）

生活全般の困りごと相談（離婚・相続・債務等）は、職員で対応し適切な機関へつなげました。

No	相談内容	H24 件数	H25 件数	No	相談内容	H24 件数	H25 件数
1	生計について	1	4	11	成年後見制度等について	1	3
2	年金について	0	0	12	人権・法律について	3	1
3	職業・生業について	0	0	13	財産について	1	1
4	住宅について	0	0	14	事故について	0	0
5	家族について	2	1	15	児童福祉・母子保健について	0	0
6	結婚について	0	0	16	教育・青少年について	0	1
7	離婚について	0	0	17	母子・父子福祉について	0	0
8	健康について	0	0	18	苦情について	3	3
9	健康・保健・衛生について	0	0	19	その他（情報提供等）	10	16
10	医療について	0	0	合 計		21	30

※福祉制度や社協業務に関する相談は、計上しておりません。

※包括・竹とんぼに関する相談は、別紙にて計上しております。

②専門相談日の充実

複雑多様化する、市民の方々からの相談に対処するため、専門相談日を設置し、ニーズに即した相談体制の充実を図りました。

	法テラスによる 法律相談		鳥越弁護士による 法律相談		民生委員による 心配ごと相談		司法書士による 法律相談	
	24年度	25年度	24年度	25年度	24年度	25年度	24年度	25年度
4月	0	1	3	1	1	0	0	0
5月	0	0	3	1	3	0	0	0
6月	1	3	3	3	3	0	0	0
7月	0	4	0	1	3	0	0	0
8月	3	0	0	1	2	0	0	0
9月	1	4	1	2	6	1	0	1
10月	2	1	1	0	1	1	0	1
11月	1	4	3	1	1	0	0	0
12月	1	2	2	0	1	0	0	0
1月	2	1	1	1	1	0	0	0
2月	1	2	3	3	1	1	1	1
3月	3	4	0	0	1	0	2	0
合 計	15	26	20	14	24	3	3	3

③市民ふれあい交流センターの運営

市民ふれあい交流センターは、地域福祉活動の拠点として、様々な事業に活用しました。

	大会議室		調理室兼中会議室		ボランティアセンター兼小会議室		談話室	
	利用件数	利用人数	利用件数	利用人数	利用件数	利用人数	利用件数	利用人数
4月	18回	401名	3回	30名	12回	86名	22回	74名
5月	25回	547名	5回	55名	16回	107名	21回	57名
6月	31回	1002名	2回	5名	20回	126名	18回	59名
7月	25回	646名	5回	33名	18回	145名	20回	56名
8月	15回	421名	2回	5名	5回	26名	21回	66名
9月	21回	535名	6回	56名	16回	127名	20回	52名
10月	24回	455名	4回	20名	15回	113名	19回	73名
11月	21回	398名	6回	70名	21回	227名	24回	86名
12月	25回	599名	7回	95名	20回	171名	18回	66名
1月	11回	393名	4回	73名	11回	113名	16回	46名
2月	28回	744名	4回	11名	24回	143名	17回	120名
3月	16回	376名	4回	10名	17回	120名	13回	39名
合 計	260回	6,517名	52回	463名	171回	1,504名	212回	794名

24年度	219回	5,259名	32回	757名	213回	1,778名	238回	633名
------	------	--------	-----	------	------	--------	------	------

4. 地域福祉事業の推進

住民同士が網の目のように連絡・連携をしながら、お互いの生活を支え合っていくための活動や仕組み（地区社協）を、それぞれの地域に合った形で取り組みを行えるように懇談会を開催しました。

①地区社協による懇談会・交流会の開催状況

日付	自治会名	場所	内容
4月9日	千怒区	千怒区公民館	総会
4月11日	四浦3区	落ノ浦集会所	学習会
4月14日	川上区	交流センター	総会
4月18日	江ノ浦区	うばめ会館	総会
4月19日	網代区	真珠共同作業所	総会
4月19日	宮本区	宮本公民館	設立総会
4月21日	畑区	岩屋口公民館	総会
4月23日	青江区	青江区公民館	総会
4月23日	西ノ内区	西ノ内公民館	総会
4月26日	彦ノ内区	彦ノ内公会堂	準備会
4月26日	堅浦区	堅浦公民館	総会
5月8日	川内区	川内会館	総会
5月8日	警固屋区	警固屋公民館	総会
5月8日	徳浦区	徳浦公民館	総会
5月13日	青江区	市営住宅集会所	班単位での見守り会議
5月14日	青江区	長野会館	班単位での見守り会議
5月15日	青江区	鬼丸会館	班単位での見守り会議
5月16日	長目区	浦代公民館	総会
5月16日	彦ノ内区	彦ノ内公会堂	設立準備会
5月17日	日見区	日見公民館	総会
5月17日	青江区	赤垣公民館	班単位での見守り会議
5月18日	青江区	田原集会所	班単位での見守り会議
5月20日	青江区	栄町会館	班単位での見守り会議
5月21日	青江区	青江公民館	班単位での見守り会議
5月22日	青江区	市営住宅集会所	班単位での見守り会議
5月25日	青江区	平岩公民館	班単位での見守り会議
5月27日	青江区	蔵富公民館	班単位での見守り会議
5月29日	青江区	原集落センター	班単位での見守り会議
5月30日	彦ノ内区	彦ノ内公会堂	設立総会



(千怒地区社協総会)



(地区社協青江の班単位での見守り推進会議)



(畑地区社協総会)

日付	自治会名	場所	内容
5月30日	川上区	地藏町集会所	子供会と懇談会
6月19日	四浦2区	深良津健康センター	研修会



(川上地区社協 子供会との意見交換会)

7月27日	徳浦区	徳浦公民館前	交流会取材
9月10日	川上区	交流センター	消防団と懇談会
10月13日	彦ノ内区	彦ノ内公会堂	バザー
11月20日	八戸区	八戸公民館	懇談会
1月10日	川上区	役員宅	打ち合わせ
3月24日	川上区	地藏町集会所	懇談会

②地区社協設立状況（平成26年4月現在）

No	地区社協名	設 立
1	地区社協青江	21年4月設立
2	地区社協福良	21年6月設立
3	地区社協四浦6	22年4月設立
4	地区社協徳浦	22年4月設立
5	地区社協警固屋	22年4月設立
6	地区社協網代	22年4月設立
7	地区社協江ノ浦	22年4月設立
8	地区社協赤崎	22年4月設立
9	地区社協川上	22年7月設立
10	地区社協日見	22年7月設立
11	地区社協千怒	22年10月設立
12	地区社協無垢島	22年12月設立
13	地区社協四浦1	23年2月設立
14	地区社協四浦2	23年2月設立
15	地区社協堅浦	23年3月設立
16	地区社協川内	23年4月設立
17	地区社協入船	23年4月設立
18	地区社協西ノ内	23年4月設立
19	地区社協長目	23年8月設立
20	地区社協畑	23年10月設立
21	地区社協中田	23年10月設立
22	地区社協岩屋	24年3月設立
23	地区社協四浦3	24年9月設立
24	地区社協保戸島	24年9月設立
25	地区社協宮本	25年4月設立
26	地区社協彦ノ内	25年5月設立



(宮本地区社協設立総会)



(彦ノ内地区社協設立総会)



(網代地区社協総会)



(警固屋地区社協の子どもとの歴史探究)

③地区社協連絡会の開催

地区社協同士の情報交換・連携・交流を通して日頃の地域福祉活動に活かしてもらうことを目的に開催しました。
本年度は、第3回目の開催ということで、講演会を開催しました。

参加者46名



④研修会等を通じた市民への地区社協活動の周知

(1)平成25年10月19日(木) 津久見市認知症フォーラム

場所：津久見市民会館 大ホール

主催：津久見市

(2)平成25年12月19日(土) ご存知ですか!?あなたの街の地域包括ケア～市民公開講座～

場所：津久見市民会館 第二会議室

主催：津久見市・臼杵市医師会立コスモス病院

⑤視察の受け入れ

(1)平成25年11月7日 佐伯市米水津地区社協が視察(地区社協警固屋対応)

(2)平成25年11月19日 長崎県川棚町住民福祉推進協議会が視察

(地区社協川上対応)

(3)平成26年3月2日 竹田市直入地区社協が視察(地区社協青江対応)



(米水津と警固屋)



(川棚と川上)



(直入と青江)

⑥ふれあいいきいきサロン事業

「ふれあいいきいきサロン」とは、小地域を拠点に、住民同士のつながりや絆を深めたり、高齢者等の孤立や閉じこもりの予防、生きがい作りなどを目的としてすすめる活動です。

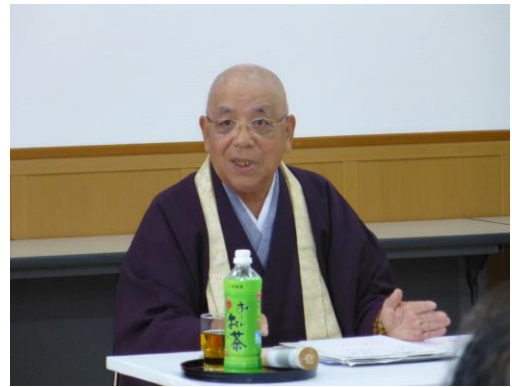
※ふれあいいきいきサロン事業の実績はP25に掲載しています。

⑦ふれあい出前講座

知識や知恵、技術をもつ市民の方々に講師として社協に登録いただき、地区での研修やふれあいいきいきサロン等の講師として、派遣を行います。

講師登録者：現在 26名(敬称略)

No	社協ふれあい出前講座メニュー	
	講座内容	講師
1	健康講座（心と体の健康） レクリエーション指導	藤沢忠生（僧侶）
2	障がいと子育て支援について	NPO法人やまびこ理事 倉原英樹
3	紙芝居・朗読・紙工作等	図書館ボランティア 福田由美子
4	お気軽健康体操	健康運動指導士 内田弘美
5	高齢者のための交通安全	津久見市交通安全推進協議会
6	うつ病・心の病について	精神保健福祉士 下田憲子
7	演芸（歌と踊り）	しらゆりの会
8	「尊い命」など	和順幼稚園理事 小田恭壽
9	おへまの介護保険	介護支援専門員 塩崎雄司
10	手作りおもちゃ教室	ボランティア子ねずみ
11	悪質商法撃退講座	大分県消費生活・男女共同参画プラザ
12	折り紙教室 居合演武	中津留 弘 (津久見剣道連盟)
13	歌・踊り・手品・皿回しなど	たちばな会
14	フラダンス教室	服部咲枝
15	健康太極拳・いきいき体操	野田敬子
16	高齢者の財産管理	鳥越徹（弁護士）
17	唄・踊り・劇・フラダンス	友情の会
18	歌謡浪曲 家庭でできる省エネ活動	日名子正嗣
19	ストレッチ体操・ダンス	村上珠美
20	生命の貯蓄体操	塩崎敬子
21	知って得する電気のはなし	九州電力(株)佐伯営業所
22	ノルディックウォーキング体操	インストラクター井戸川幸雄
23	健康づくり	日本3B体操協会平川千恵子
24	ハワイアン・フラ	エンジョイつくみ
25	認知症サポーター養成講座	地域包括支援センター社協職員
26	体操☆レクリエーション	社会福祉協議会職員
27	軽スポーツ教室	



(小田恭壽氏)



(太極拳)



(たんぽぽ)

○登録頂いた講師の方を派遣し出前講座を行ったケース（35ケース）※敬称略

日付	団体名	講師名
4月18日	くろしお学園	太極拳 野田啓子
5月14日	日見サロン	太極拳 野田啓子
5月17日	堅浦サロン	腹話術 湯けむり別府支部
5月18日	母子寡婦福祉会	腹話術 湯けむり別府支部
6月11日	岩屋口サロン	折り紙教室 中津留弘
6月14日	宮本サロン	太極拳 野田啓子



(鳥越弁護士)

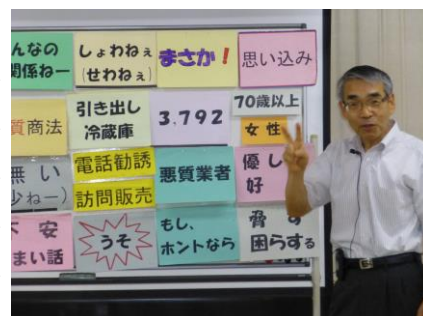
6月14日	入船サロン	講話 小田恭壽
6月27日	高洲サロン	演芸 たちばな会



(腹話術)

日 付	団体名	講師名
6月29日	生涯学習課	体操 内田弘美
7月7日	千怒6部サロン	紙芝居 たんぽぽ
7月11日	鈴の会	法律 鳥越弁護士
7月16日	千怒旭町きずなサロン	腹話術 湯けむり別府支部
7月23日	グループホーム優美	健康講座 藤沢忠生
8月20日	地域密着型特定施設こころ	演芸 友情の会

日 付	団体名	講師名
8月27日	赤崎サロン	演芸 しらゆりの会
9月2日	青江東サロン	悪徳商法について アイネス
9月2日	青江西サロン	演芸 たちばな会
9月9日	日見サロン	講和 小田恭壽
9月19日	セメント町サロン	紙芝居 たんぽぽ
9月23日	優楽	歌謡浪曲 日名子正嗣
10月5日	入船ふれあいサロン	健康講座 藤沢忠生
10月7日	青江東サロン	演芸 たちばな会
10月9日	警固屋合同サロン	腹話術 湯けむり別府支部
10月11日	宮本サロン	介護保険 塩崎雄司



(アイネス)



たちばな会



下田憲子氏



日名子正嗣氏

日 付	団体名	講師名
10月10日	中田区ふれあいサロン	腹話術 湯けむり別府支部
10月20日	鬼丸中央地区	腹話術 湯けむり別府支部
10月31日	志手町サロン	心の病について 下田憲子
11月19日	中田区ふれあいサロン	健康講座 藤沢忠生
11月19日	千怒旭町きずなサロン	歌謡浪曲 日名子正嗣
11月26日	赤崎サロン	介護保険 塩崎雄司
11月27日	桜ヶ瀬新町サロン	心の病について 下田憲子
1月23日	彦ノ内サロン	法律 鳥越弁護士 腹話術 湯けむり別府支部
3月10日	青江西サロン	悪徳商法について アイネス
3月27日	地域密着型特定施設こころ	紙芝居 たんぽぽ

⑧障がい者交流事業

障がいのある方の中には、地域の中で交流する機会や外出の機会が少なく、生活状況が近所の方でも把握できない方がいます。このような状況の方々と接すると、表面化していない様々なニーズが潜んでいることに気付かされる場合があります。社協では、この交流事業をとおして、障がい者の社会参加の促進とさまざまな方々との交流の場の提供、ニーズの把握等に努めています。



(湯布院散策・・・参加者43)

⑨福祉施設・事業所等連絡会の開催

津久見市福祉施設・事業所等連絡会

「津久見市福祉施設・事業所等連絡会」とは市内には、多くの高齢者や障がい者の施設や福祉の仕事をしている事業所があります。こうした施設や事業所の関係者が集まって、情報交換や意見交換をする場です。施設のある地域の人々はもちろん、多くの市民に施設の存在を知っていただき、施設同士でネットワークを組んで、津久見市の福祉の向上を目指します。



(福祉施設事業所連絡会)

(参加施設事業所：高齢者施設事業所15、障がい者施設事業所4)

開催日	協議内容
平成25年7月24日第1回	<ul style="list-style-type: none"> ①労働災害について 佐伯労働基準監督署 ②おおいた県南地域若者サポートステーションについて ③各施設事業所より連絡事項について ④社協会費と共同募金のお願いについて
平成26年2月21日第2回	<ul style="list-style-type: none"> ①津久見市認知症ネットワークシステムについて ②日常生活圏域ニーズ調査について ③津久見市行政改革プラン2014（素案）について ④共同募金実績報告について ⑤社協出前講座及びボランティアグループについて

⑩関係機関団体ネットワーク会議

日付	会議・研修会	参加者数	日付	説明会	参加者数
2月13日	青江地区ブロック研修会 (区役員・民生委員・推進員)	53名	2月20日	津久見東地区ブロック研修会 (区役員・民生委員・推進員)	22名
2月18日	日代地区ブロック研修会 (区役員・民生委員・推進員)	19名	2月24日	津久見西地区ブロック研修会 (区役員・民生委員・推進員)	29名
2月19日	保戸島四浦地区ブロック研修会 (区役員・民生委員・推進員)	34名	2月26日	下浦地区ブロック研修会 (区役員・民生委員・推進員)	28名

- ボランティア協力校（市内11校）とボランティアグループとの意見交換会（6月24日）
- 津久見小学校区連絡会（5月10日・6月19日・1月31日）
- 千怒小学校区連絡会（6月20日・2月6日）
- 堅徳小学校区連絡会（6月25日・11月21日）
- 青江小学校区連絡会（3月11日）

⑪ベンチ設置事業

津久見市建築士会の協力により、地区集会所、バス停留所にベンチを設置します。

平成25年度設置台数16台

共同基金による配分（日見区・四浦2区・四浦3区・四浦4区・保戸島区）

歳末募金による配分（彦ノ内区・川内区・長目区）



（日見区）



（彦ノ内区）



（四浦3区）

⑫日常生活自立支援事業（旧地域福祉権利擁護事業）

認知症の方や知的障がいのある方、精神障がいのある方などへ、福祉サービスの利用援助や日常の金銭管理（預貯金通帳の預り、支払代行等）を行います。

<例えば> 通帳や印鑑の紛失や、家賃や新聞代の支払いを忘れてしまうことが多くなり、遠くに住む家族も心配になっていたAさん（ひとり暮らし高齢者）の場合。あんしんサポートセンターの生活支援員が、月に2回の訪問（回数は利用者ごとに話をして決定）をする中で、家賃や新聞代の支払い、生活費の支払いを支援して月々の滞納をなくし、通帳や印鑑については、あんしんサポートセンター内の金庫にて保管することで紛失を防ぐこととなった。

相談、契約の状況							相談内容
利用者区分	相談件数			契約件数			
	H23	H24	H25	H23	H24	H25	
認知症高齢者	2	3	7	0	1	1	<ul style="list-style-type: none"> ・ 日常の金銭管理 ・ 福祉サービスの利用について ・ 今後の生活設計等について ・ 事業についての内容照会
知的障がい者	0	0	2	0	0	2	
精神障がい者	2	1	6	0	0	2	
その他	2	0		0	0	0	
計	6	4	15	0	1	5	

*平成25年度末契約件数：9件

(認知症5件、知的障がい者4件、精神障がい者2件、内2件解約)

⑬生活福祉資金貸付事業

低所得世帯、身体障がい者世帯、高齢者世帯を対象に資金の貸付事務を行います。

資金の種類		資金の内容・目的等
総合支援資金	生活支援費	・ 生活再建までの生活費
	住宅入居費	・ 敷金、礼金等の賃貸契約を結ぶために必要な経費
	一時生活再建費	・ 生活を再建するために一時的に必要なかつ日常生活費で賄うことが困難である費用

資金の種類		資金の内容・目的等
福祉資金	福祉費	・ 生業を営むために必要な経費
		・ 技能修得に必要な経費及びその期間中の生計を維持するために必要
		・ 住宅の増改築、補修等及び公営住宅の譲り受けに必要な経費
		・ 福祉用具等の購入に必要な経費
		・ 障害者用自動車の購入に必要な経費
		・ 中国残留邦人等にかかる国民年金保険の追加に必要な経費
		・ 負傷又は疾病の療養にかかる必要な経費（健康保険の例による医療の自己負担額のほか、移送経費等、療養に付随して要する経費を含む）及びその療養期中の生計を維持するために必要な経費

	<ul style="list-style-type: none"> ・介護サービス、障がい者サービス等を受けるのに必要な経費（介護保険料を含む）及びその期間中の生計を維持するために必要な経費 ・災害を受けたことにより臨時に必要な経費 ・冠婚葬祭に必要な経費 ・住居の移転等、給排水整備等の設置に必要な経費 ・就職、技能習得等の支度に必要な経費 ・その他日常生活上一時的に必要な経費
緊急小口資金	<ul style="list-style-type: none"> ・緊急かつ一時的に生計の維持が困難となった場合に貸し付ける小額の資金

(ウ) 教育支援資金

低所得世帯に対して、次に掲げる経費として貸し付ける資金

資金の種類		資金の内容・目的等
教育支援資金	教育支援資金	・低所得世帯に属する者が高等学校、大学又は高等専門学校に就学するのに必要な経費
	就学支度費	・低所得世帯に属する者が高等学校、大学又は高等専門学校への入学に際し必要な経費

その他資金

資金の種類	資金の内容・目的等
不動産担保型生活資金	・低所得の高齢者世帯に対し、一定の居住用不動産を担保として生活資金を貸し付ける資金
要保護世帯向け不動産担保型生活資金	・要保護の高齢者世帯に対し、一定の居住用不動産を担保として生活資金を貸し付ける資金

相談件数			相談内容
平成23年度	平成24年度	平成25年度	
9件	20件	33件	緊急小口資金・教育支援資金・総合支援資金など

資金種別	貸付件数		
	H23	H24	H25
教育支援資金	1件	1件	0件
福祉資金（福祉）	0件	6件	6件
福祉資金（小口）	5件	3件	6件
総合支援資金	1件	3件	0件
計	7件	13件	12件

H25償還完了等件数	
種別	件数
償還完了	15件
償還免除	0件
延滞利子免除	0件



○貸付の累計件数（本年度契約分含む）

資 金 種 別		累計件数
福祉資金	福祉費	21件
	緊急小口資金	11件
教育支援資金		10件
総合支援資金		6件
離職者支援資金		1件
計		49件

4. ボランティア活動の推進

ボランティアの登録及び支援事業：個人51名、グループ 24団体（558名）

グループ名	活動内容
・手話サークル「小鳩」	聴覚障がい者の手話通訳や交流活動
・ボランティアグループ「ふれあい」	施設での利用者の介助や行事介助等
・ボランティアグループ「のぎくの会」	各種イベント等の手伝い・福祉施設での作業手伝い等
・収集ボランティア「鈴の会」	古切手や使用済みテレホンカードなどを中心に収集し障がい者団体等に送付
・ボランティアグループ「ふれあい電話」	一人暮らし高齢者に対し、電話による安否確認
・ボランティアグループ「あけぼの会」	視覚障がい者の支援活動や交流活動
・図書館ボランティア「たんぽぽ」	図書館での朗読奉仕（子どもへの本の読み聞かせ）
・環境ボランティア「子ねすみ」	市内の海岸線、国道沿線、公園等の清掃活動
・修繕ボランティア	高齢者・障がい者世帯に訪問し、家屋の簡易補修
・つくみ環境美化グループ	市内の公園や周辺の植樹・緑化活動、清掃活動
・食生活改善推進協議会	食生活の改善指導等
・ボランティアグループ「りんり」	公園やイベント会場の清掃活動
・健康体操「歩み」	体操や社交ダンス等を通じて健康を広める
・くすの木サークルパパーズ	小学校の児童のために、環境整備の手伝い（津小）
・くすの木サークルマザーグース	小学生に本の読み聞かせを行う（津小）
・おたすけ会	保戸島地区の高齢者・病人の通院、入院介助
・白百合の会	高齢者・病人の通院、入院介助
・地域女性団体連合会	イベント運営支援など
・ボランティアグループ たちばな会	施設等訪問（演芸披露）
・しらゆりの会	施設等訪問（演芸披露）
・竹の子の会	小学校の書写時に硬筆・毛筆の指導
・津久見高校	施設等での交流ボランティア
・友情の会	唄・踊りなどでふれあい交流

（個人登録）

・服のリフォーム（4名）	高齢者や障がい者の服のリフォームを行う
・音訳ボランティア（7名）	市報や社協だよりをテープに音訳編集し、視覚障がい者世帯に郵送
・まちかど（1名）	ボランティア養成講座をきっかけに登録

・出前講師個人登録（18名）	自分の技能・技術・資格を生かし講師登録
・出前講師団体登録（4名）	団体として、講師登録
・その他（4名）	自分の出来る時間に活動

②ボランティアの斡旋状況：ボランティアを必要とする方への派遣を行いました。
 平成25年度斡旋実績：年20回 内訳（修繕5件、出前講師4件、講師派遣8件、服のリホーム2件、社協行事1件）



（修繕ボランティアによるトタンの張替え作業）



（手話サークル小嶋）



（収集ボランティア鈴の会）



（たんぽぽ）

③ボランティアコーディネーターの設置

ボランティアコーディネーターを設置し、ボランティアに関する調査、育成・発掘、情報収集と発信を柱として運営を行っていきます。



○ボランティア活動に関する相談件数

相談内容	相談件数		
	平成23年度	平成24年度	平成25年度
登録に関する事	12件	8件	4件
派遣に関する事	9件	15件	20件
活動に関する事	3件	65件	56件
個人・団体等の支援及び意見交換	32件	58件	69件
情報提供・発信に関する事	48件	47件	74件
連絡協議会に関する事	51件	47件	47件
その他相談件数	0件	0件	2件

④手話講習会の開催

手話の普及と通訳者の育成を目的に、入門講座を開催しています。
24年度、開催しておりません。
25年度は10名終了

(23年度は8名終了)



⑤ボランティア協力校関係

ボランティア協力校とは、学校関係者と社会福祉関係者及び地域住民が協力し合っ
て計画的・系統的に子ども達にボランティア活動の場や世代間交流の機会を提供し、
その実践体験を通して「優しさ」「いたわり」「行動する勇気」と「自主性」を養
い、社会奉仕と社会連帯の豊かな心をもつ人間として育てることを目的として創設さ
れた制度です。

25年度の活動校：市社協指定11校



(車いす体験)



(手話学習)

⑥夏のボランティア体験学習

夏休みを利用した、ボランティアな福祉活動を体験することにより、自分たちが住
む地域社会の現状やその中で行われる福祉活動に対する理解と、ボランティア活動へ
の積極的な参加を促進するものです。

平成25年度実績：8施設において18名の高校生・専門学校生・一般の方々がボ
ランティア体験を行いました。(24年度は13名参加・7施設に派遣)



(保育園にて)



(介護施設にて)

5. 津久見市よりの受託事業

①地域包括支援センター社協

地域における高齢者総合相談・支援、介護予防マネジメント、包括的・組織的マネジメントを担う機関として事業の充実に努めます。

※包括支援センターの実績はP 21より

②障がい者の相談窓口

障がい者指定相談事業所サポートセンター竹とんぼとして、障がい者や家族、介護者等からの相談に対し、必要な情報提供やサービスの利用援助等を行います。

※竹とんぼの実績はP 27より

③寝具類洗濯乾燥消毒サービス事業

ひとり暮らし及び高齢者のみの世帯並びに身体障がい者で障害、傷病等の理由により寝具類の衛生管理が困難な方に対して、年間2回のサービスを行いました。

実績

年 度	利用者	延回数
平成23年度	6名	10回
平成24年度	6名	10回
平成25年度	3名	6回

6. 在宅福祉サービス事業

①福祉機器の貸出事業

○貸出し状況

福祉機器名	H20年度	H21年度	H22年度	H23年度	H24年度	H25年度
電動ベット	20	21	10	5	11	8
車イス	41	67	72	81	72	61
ポータブルトイレ	12	14	8	11	12	6
ベットマット	0	2	0	0	0	0
介助バー	2	3	0	0	0	0
手押し車	1	0	0	0	1	0
エアーマット	0	3	0	1	0	在庫なし
バスボード	0	1	0	0	0	1
シャワーチェア	0	1	0	0	2	1
ベット柵	0	1	0	0	0	0
歩行器	0	0	0	0	2	2
松葉杖・杖	0	1	1	2	2	1
セニアカー（無償譲渡）	0	1	0	0	0	1

<例えばのケース>

(1)施設や病院に入所や入院をしており、一時的に在宅へ戻る場合

(2)介護保険を利用中であるが、旅行に行くため一週間のみ車椅子を借りたい。

(3)介護保険を申請したが、認定結果がおりるまでの間、ベットを借りたい。



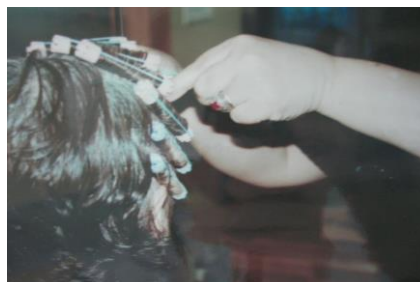
(車イス)



(ポータブルトイレ)

②訪問理美容サービス

在宅で寝たきりの高齢者や障がい者に対して、理美容師を派遣して整髪を行います。
※社協より、理美容師に出張料を支払い、利用者は理美容の店内料金を理美容師に支払います。

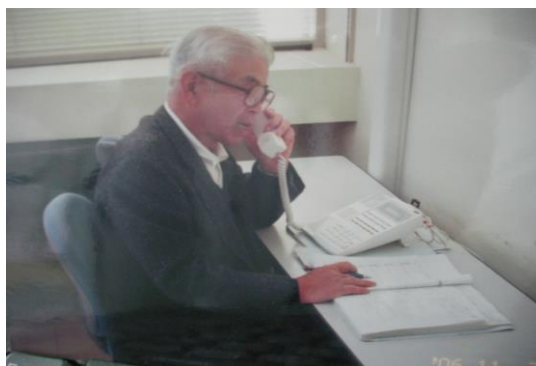


	実利用者数	延べ利用回数
平成23年度	4名	17回
平成24年度	4名	16回
平成25年度	4名	13回

③ふれあい電話

ボランティアにより、一人暮らしの高齢者世帯へ、月2回電話による安否確認の声かけを行います（電話は社協より利用者宅へ行きます。）

平成25年度の利用者は9名
（平成24年度 9名）



7. 啓蒙啓発活動

①広報紙「たちばな」発行：4回発行

②市社会福祉大会の開催：式典・体験発表・講演会

8. 共同募金活動の推進

①共同募金運動

- ・ 県共同募金会の支会として、募金活動を行いました。

平成25年度実績 3,880,482円

戸別募金	3,218,000円
法人募金	250,000円
職域募金（ボールペン）	362,440円
職域募金（バッジ）	7,659円
グルメ散歩募金	20,100円
自販機募金	13,375円
その他募金	8,737円
預金利息	171円

②歳末たすけあい募金運動

- ・ 平成25年度実績

2,857,617円

内チャリティーショー収益

1,141,476円



9. その他事業

①民生委員児童委員協議会の活動支援（事務局）



（津久見小学校区連絡会）

民生児童委員・主任児童委員・学校
区長・PTA・社協職員とで意見交換



（専門部会研修会）

津久見市の介護予防への取り組み・
活動報告

②その他福祉関係団体への活動支援

… 身体障がい者福祉協議会・盛人クラブ連合会・母子寡婦福祉会
子ども会育成連絡協議会・臼津保護司会津久見分区・遺族会
更生保護女性会・ボランティア連絡協議会・各ボランティアグループ
各ボランティア協力校・社会を明るくする運動実施委員会
市内福祉施設事業所等連絡会・県南福祉フォーラム津久見

③福祉バスの運行

- 福祉関係団体の研修会・大会参加時の送迎等を行います。（乗車定員28名）

○昨年度実績

利用団体名	運行回数		
	H23	H24	H25
ふれあいサロン	50日	52日	64日
高齢者学級	10日	9日	6日
ボランティア登録団体	15日	21日	25日
市役所行事	8日	11日	11日
社協行事（サロン以外）	9日	6日	4日
福祉関係団体	8日	13日	5日
福祉施設	8日	10日	5日
地区社協	8日	8日	10日
盛人クラブ	9日	11日	3日
保育所	1日	1日	1日
民生委員児童委員協議会	6日	4日	4日
遺族連合会	2日	2日	2日
学校	1日	0日	1日
その他団体	10日	8日	12日



平成20年度 運行日数106日

平成21年度 運行日数121日

平成22年度 運行日数144日

平成23年度 運行日数145日

平成24年度 運行日数156日

平成25年度 運行日数153日